

取扱説明書

WAGNER

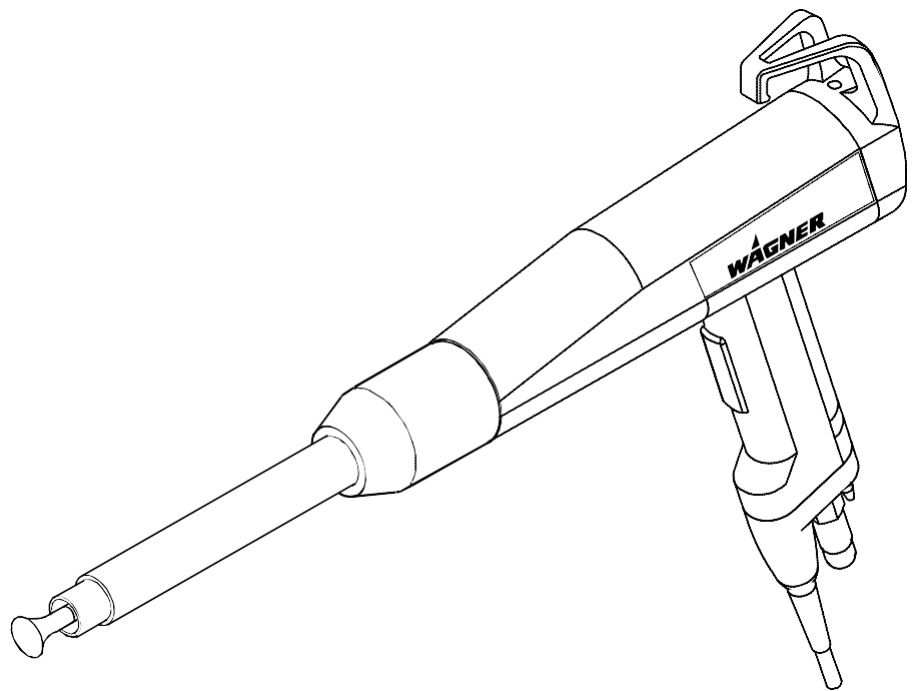
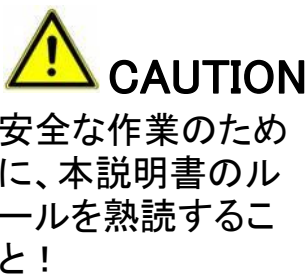
WAGNER

WAGNER

トリボ マニュアルスプレーガン



高圧注意！作業
前に電源を切っ
てください！



pent3_0000



PEM-T3



WAGNER

WAGNER

WAGNER

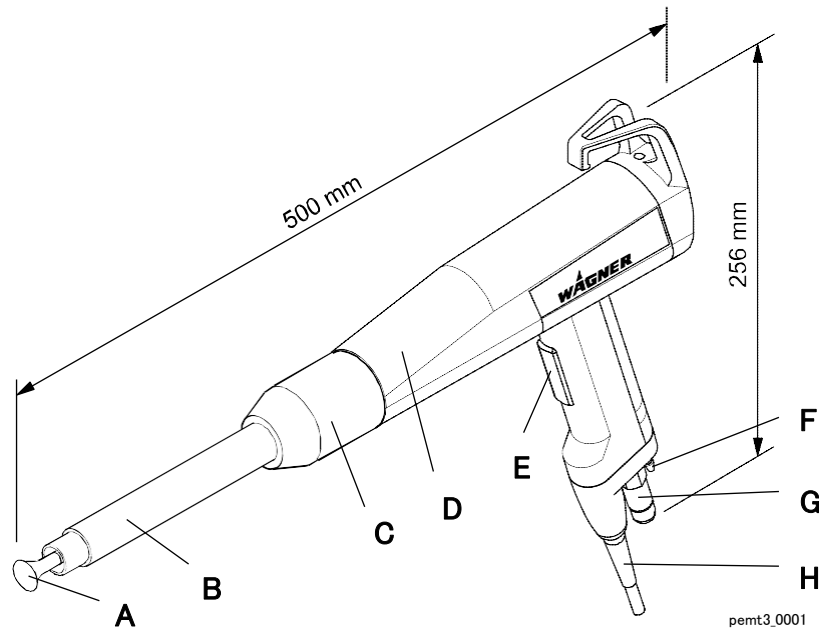
WAGNER

WAGNER

トリボマニユアルスプレーガン

Article No. 0351019

00_Pemt3_Aufbau.doc



- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| A | デフレクターコーン | E | トリガー |
| B | ノズルボディ | F | トリボエア接続 |
| C | アウターナット | G | パウダーホース接続 |
| D | スプレーガンボディ | H | 電源装置 |

トリボマニユアルスプレーガン PEM-T3 は摩擦対応粉体に使えます。

PEM-T3 スプレーガンは工業用粉体塗装に使えます。

このスプレーは以下のコントローラとともに使えます。

- | | | |
|----------------------|---------------|--------|
| ・ EPG 2008 | パウダーインジェクター併用 | PI-P1 |
| ・ EPG-D1 | パウダーインジェクター併用 | PI-F1 |
| ・ Control unit Bravo | パウダーインジェクター併用 | PI-FM1 |
| EPG Sprint | パウダーインジェクター併用 | PI-F1 |
| ・ EPG Sprint X | パウダーインジェクター併用 | PI-F1 |

スプレーガンへのパウダーフィードとトリボエア供給はトリガーを押すことで作動します。



Caution

ユーザーは、スプレーガンがワグナー装置に接続していることを確認すること！
 高い周辺温度での作業は避けてください。特に、ホースは、直射日光を浴びる工場の
 区域を経由させないこと！
 スプレーガンの意図的でない作動に対する予防手段として、コントローラの電源をオ
 フにすること！

| 目次 | Page |
|------------------------------|-----------|
| 1. 安全規格 | 5 |
| 1.1 安全な使用のために | 5 |
| 1.2 EC 検査証明書 | 6 |
| 2. 始動の準備 | 7 |
| 2.1 ノズルの選択 | 7 |
| 2.2 スプレーガンの接続 | 7 |
| 2.3 接地アース | 8 |
| 3. 作業 | 9 |
| 3.1 スプレーガンの始動 | 9 |
| 3.2 スイッチオフ | 9 |
| 3.3 カラーの変更 | 10 |
| 4. 保守点検と清掃 | 11 |
| 4.1 スプレーガンの取替 | 11 |
| 4.2 スプレーガンの洗浄と消耗部品の取替 | 12 |
| 4.3 ガンエクステンションの取付 | 13 |
| 4.4 廃棄 | 15 |
| 5. トラブル対策 | 16 |
| 6. 技術データ | 17 |
| 7. 製品保証 | 18 |
| 8. 適応範囲と 部品リスト | 19 |
| 8.1 注文方法 | 19 |
| 8.2 PEM-T3 の適応範囲と部品リスト | 19 |
| 8.3 チャージングボディ(全体) | 20 |
| 8.4 ワイドファンスプレーノズル | 20 |
| 8.5 ガンエクステンション | 21 |
| 8.6 PEM-T3 300 のチャージ | 22 |
| 8.7 外部チューブ | 23 |

この取扱説明書は機器のサービス、修理、点検保守に関する情報とヒントを記載しています。ユーザーはこの取扱説明書に記載しているすべてのルールに従って作業を行ってください。説明内容に従わず使用した場合は、製品保証の対象外となります。

ワグナー粉体塗装システムは、最も厳しい安全基準を満たすよう設計されています。各国の一般に適用される安全コードと安全規則に従って作業を行ってください。

以下のシンボルによってマークされたパーツ部品には特に注意を払ってください。あなた自身の安全と装置の正しい機能のために、正確に指示に従ってください。

**Warning**

このシンボルは、作業指示や所定作業手順に従わなかった場合、ケガや致命的な事故につながることを注意喚起しています。

**Caution**

このシンボルは、作業指示や所定作業手順に従わなかった場合、装置の損傷につながることを注意喚起しています。

**Hint**

このシンボルは、為になる追加の情報やヒントを注意喚起しています。

1. 安全規格

1.1 安全な使用のために

010101_.doc



Warning

この取扱説明書の安全規定、指示に従って作業してください！

その他各国の憲法規定、事故防止に従ってください！



Warning

いかなる場合も、心臓ペースメーカーを使用している人は、スプレーガンのチップと被塗物の間に近づかないこと！

装置の安全かつ効率的な使用のために、以下のルールに従って作業してください。

- ・ ユーザーは各自治体が定めた安全規定に従い作業してください。
- ・ 装置の運転は熟練作業者のみがおこなってください。
- ・ スプレーガンの使用は換気システムを備えた塗装ブースまたはスタンドで行ってください。
- ・ 粉体／空気平均濃度が LEL (空気中の最大粉体濃度) の 50% を超えないことを、ユーザーは確認してください。信頼できる LEL 数値が分からない場合は、粉体／空気平均濃度を 10g/m³ 以下に保ってください。
- ・ オーバーミストした粉体塗料は確実に回収してください。
- ・ 不用なコーティング粉を処分するときは、塗料製造業者と環境関連規定の指示を守ってください。
- ・ ワグナー粉体装置の作動に用いる電源接続は、塗装ブースの排気システムで、電気連結させてください。
- ・ エラーまたは欠陥が生じた場合、修理はユーザーの裁量で実行してください。
- ・ ユーザーは、防爆規定に関して粉体スプレー装置の定期的なチェック (少なくとも年ごと) を行わなければなりません。
- ・ 修理は訓練された熟練した技術者によって行い、爆発の危険がある場所では決して行わないでください。爆発に対する保護対策を徹底してください。
- ・ 作業エリアは、静電伝導力がある地面でなければなりません。(EN 1081 に従う)
- ・ 作業エリアのすべての伝導性のパーツは、アース接地されなければなりません。(作業エリア= スプレー現場およびブースから 1m 範囲)
- ・ 作業エリア内のすべての人は、伝導性がある靴を履いてください。
- ・ スプレーガンは、素手あるいは伝導性のある手袋で操作してください。
- ・ **Guideline 94/9/EC:** 爆発危険地域においても、設計された塗装に対してならば利用できます。

- ・ 作業にふさわしい衣服を身に着けてください。
- ・ 粉体を利用する際および溶媒が蒸気を出す際は呼吸保護マスクを使用してください。
溶媒の吸入と皮膚接触による健康危険性、および溶剤のはねによる目の角膜損傷を予防します。
- ・ **装置の損傷チェック**
システムを操作する前に、わずかに損傷を受けている部品が正しくまだ機能するかどうか調べてください。
可動部分がきちんと動くかどうか、つまりがないか、損傷が激しくないかを調べてください。
損傷部品はワグナーで修理を行う必要があります。



Warning

あなた自身の安全のために、取扱説明書に記載されている付属品と機器だけを使用してください。取扱説明書で記載される以外の部品の使用は、身体の安全に危険をおよぼす可能性があります。純正のワグナー交換部品だけを使ってください！

ワグナー純正部品の変更または修理は、塗装中における深刻な事故または爆発を引き起こす可能性があります！

1.2 EC 検査証明書



この操作説明書で記載されるユニットが EU Directives 98/37/EC、94/9/EC、73/23EEC、89/336EEC の条項に基づいて設計・製造されたことを、ワグナーはここに宣告します。

以下のヨーロッパ基準が適応されています：

| | | |
|---------------|-------------------|--------------|
| EN 12100-1/-2 | EN 50281-1-1/-1-2 | EN 61000-6-1 |
| EN 61000-6-2 | EN 61000-6-3 | EN 60204-1 |
| EN 50053-2 | EN 50050 | EN 50177 |

以下のドイツ基準およびガイドラインが適応されています：

BGI 764

本製品は、EC 検査証明書を含みます。



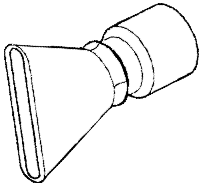
製品のシリアル番号と詳細情報を伝えることによって、必要に応じ、WAGNER デイラーから注文することができます。

検査証明書番号は **0351967** です。

2. 始動の準備

2.1 ノズルの選択

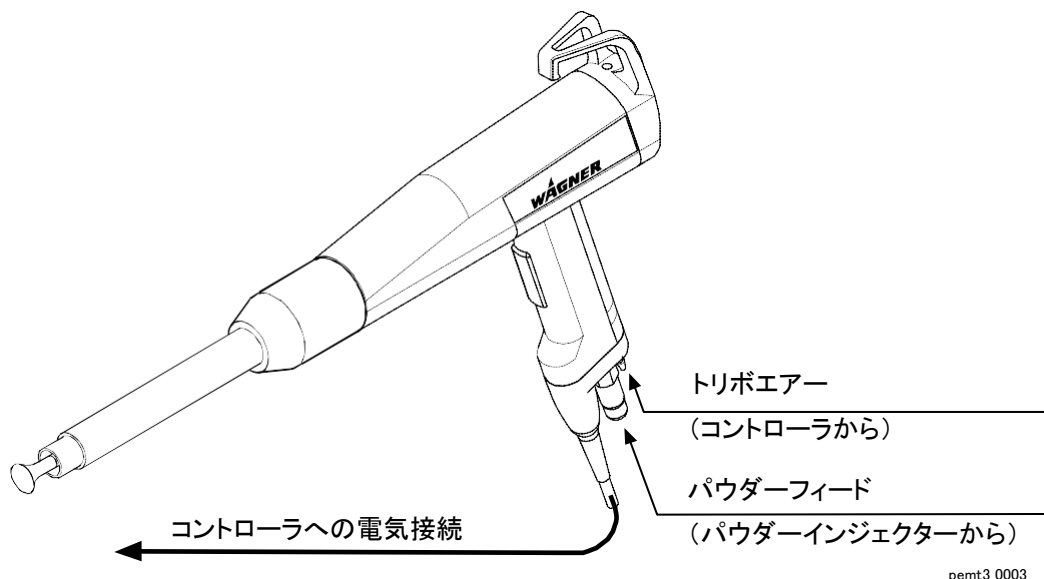
0201_Duesenauswahl_tribo.doc

| ノズル | 被塗物 | スプレーパターン |
|---|--|---|
| デフレクターコーン  | <ul style="list-style-type: none"> 針金製品 格子状製品 | 卵形: サイズは、デフレクターコーン直径による。 粉量: 50 - 300 グラム/分 |
| ファンノズル  | 複雑な加工品: <ul style="list-style-type: none"> 切込み部分 エッジの折れ | 広域フラット 粉量: 50 - 150 グラム/分 |
| ワイドファンノズル  | 複雑な加工品: <ul style="list-style-type: none"> 切込み部分 エッジの折れ | 広域フラット 粉量: 100 - 250 グラム/分 |

パーツ番号は、8.「適応範囲と部品リスト」参照。

2.2 スプレーガンの接続

接続を開始する前にパウダーフィードのスイッチを切ってください。このガンに対応するコントローラの取扱説明書を参照してください。



pemt3.0003

- ・ 電気ケーブルでスプレーガンをつリボ 電流測定 またはディスプレイモジュールに 接続します。
- ・ パウダーホースをスプレーガンと パウダーインジェクターに接続します。
- ・ つリボエアーのホースをスプレーガンとコントローラに接続します。

2.3 接地アース

安全のため、スプレーガンは正しく接地してください。

0203_.doc

最適な塗装コーティングのためにはすべての被塗物の接地アースが必要です。接地アースの不良は以下の原因にもなります：

- ・ 被塗物の危険な帯電
- ・ スプレーガンおよびユーザーへのバックスプレー
- ・ 不均質なコーティング
- ・ まわりこみ性の悪さ



Warning

フックあるいは他のハンガーパーツが完全に洗浄されていない場合、被塗物と運搬装置フック（ハンガー）の間にスパークが起こることがあります！ フックおよびハンガーパーツは定期的に洗浄してください。

これらのスパークは、無線周波数の妨害を引き起こすことがあります。

3. 作業

3.1 スプレーガンの始動

- ・ コントローラの電源を入れます。
- ・ コントローラのガンの種類を「マニュアル」、「トリボ」を選択します。
- ・ 対象コントローラの取扱説明書を参照してください。



Caution

消耗を防ぐため、フィードエアとドーセージエアの合計は、 $3.5 \sim 6 \text{Nm}^3/\text{h}$ の間で変動させること！

また、供給空気、フィードエアとドーセージエア、それにトリボエアの合計は、 $7.5 \text{Nm}^3/\text{h}$ を上限とすること！

- ・ スプレー・ブース内でマニュアルガンを保持し、トリガーを押し、フィードエアとドーセージエアを調節することで、粉体量と粉体速度をセットしてください。
- ・ トリボ電流の表示が $3 \mu\text{A}$ に到達されるまで、トリボエアのみを開けてください。



Caution

トリボエアの充電電流が $3.5 \mu\text{A}$ を超えたときは、トリボエアを弱めるか完全に閉じること！

充電電流は粉体の種類によりますが、 $2.5 \sim 3.5 \mu\text{A}$ の間に保たれることが理想です。

3.2 スイッチオフ

スプレーガンはパウダーインジェクターの種類によって、いくつかの方法でスイッチオフされます。



Hint

スプレーガンは作業の中断ごとに、最後まで吹きつけし（フラッシング）、粉体の残留を清掃してください。こうすることで、再稼働時の粉体残留のつまりとサージを回避できます。

0302_.doc

フラッシング手順は、スプレーガンが EPG-D1 または PI-F1 パウダーインジェクターが併用されているコントローラ Bravo に接続している際、コントローラで設定できます。この場合、トリガーが離されるとすぐに、スプレーガンから粉体がフラッシュされます。

スプレーガンが EPG2008 と PI-P1 パウダーインジェクターで操作されている場合、以下の通りに進めてください：

- ・ スプレーガンのトリガーを離し、パウダーフィードと高電圧装置のスイッチを切ります。
- ・ コントローラ EPG 2008 で全体エア量のノブを最大限に設定します。再びスイッチを入れるとき、粉体はこれ以上噴出されません。
- ・ スプレーガンから粉体がなくなるよう、トリガーを押します。
- ・ コントローラのスイッチを切ります。不注意なスイッチオンに注意してください。

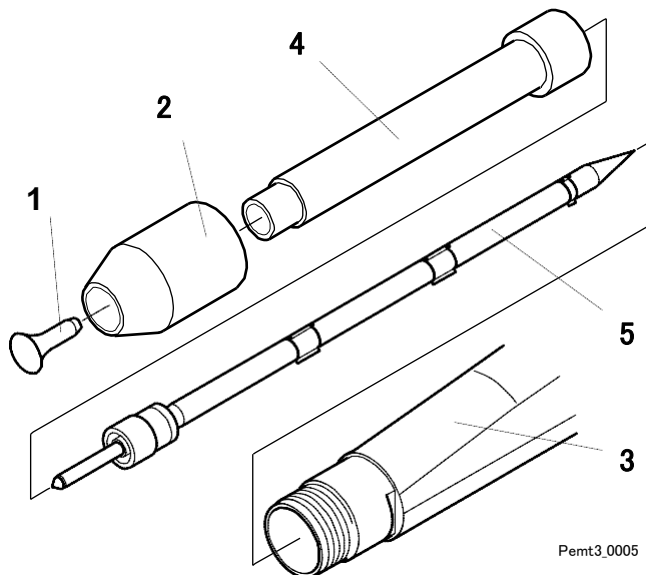
3.3 カラーの変更

カラーの変更の際、粉体を通るすべてのシステムから粉体の残留を完全に洗浄してください。

以下に、スプレーガンに関する手順を説明します。

他の機器の洗浄に関する説明は、それぞれの取扱説明書に従ってください。

- ・ コントローラのスイッチを切ります。不注意なスイッチオンに注意してください。



- ・ オートフラッシングを使わない場合：
スプレーガンのトリガーを離し、パウダーフィードと高電圧装置のスイッチを切ります。フラッシング中の粉体の吸い上げを防ぐため、パウダーインジェクターをコンテナから外します。
スプレーガンから粉体なくなるよう、トリガーを押します。コントローラのスイッチを切ります。不注意なスイッチオンに注意してください。

- ・ デフレクターコーン 1 をチャージングボディ 5 から抜きます。
- ・ 外部ナット 2 をガンハウジング 3 から外します。
- ・ ノズルボディ 4 をガンハウジング 3 から注意して抜きます。
- ・ チャージングボディ 5 を注意して取り外します。



Caution

各パーツを取り外す、また組み立てる時は、チャージングボディが損傷を受けていないか 入念にチェックすること！

- ・ 解体したパーツ とスプレーガンに残っている粉体の残留を洗浄します。
- ・ チャージングボディ 5 とノズルボディ 4 をガンハウジング 3 に注意して戻し、外部ナット 2 で締めます。
- ・ デフレクターコーン 1 をチャージングボディ 5 に戻します。
- ・ これでスプレーガンは再び使用できます。

4. 保守点検と清掃

4.1 スプレーガンの取替

0401_.doc

スプレーガンの取替を開始する前に、すべての粉体残留を完全に取り除きます。

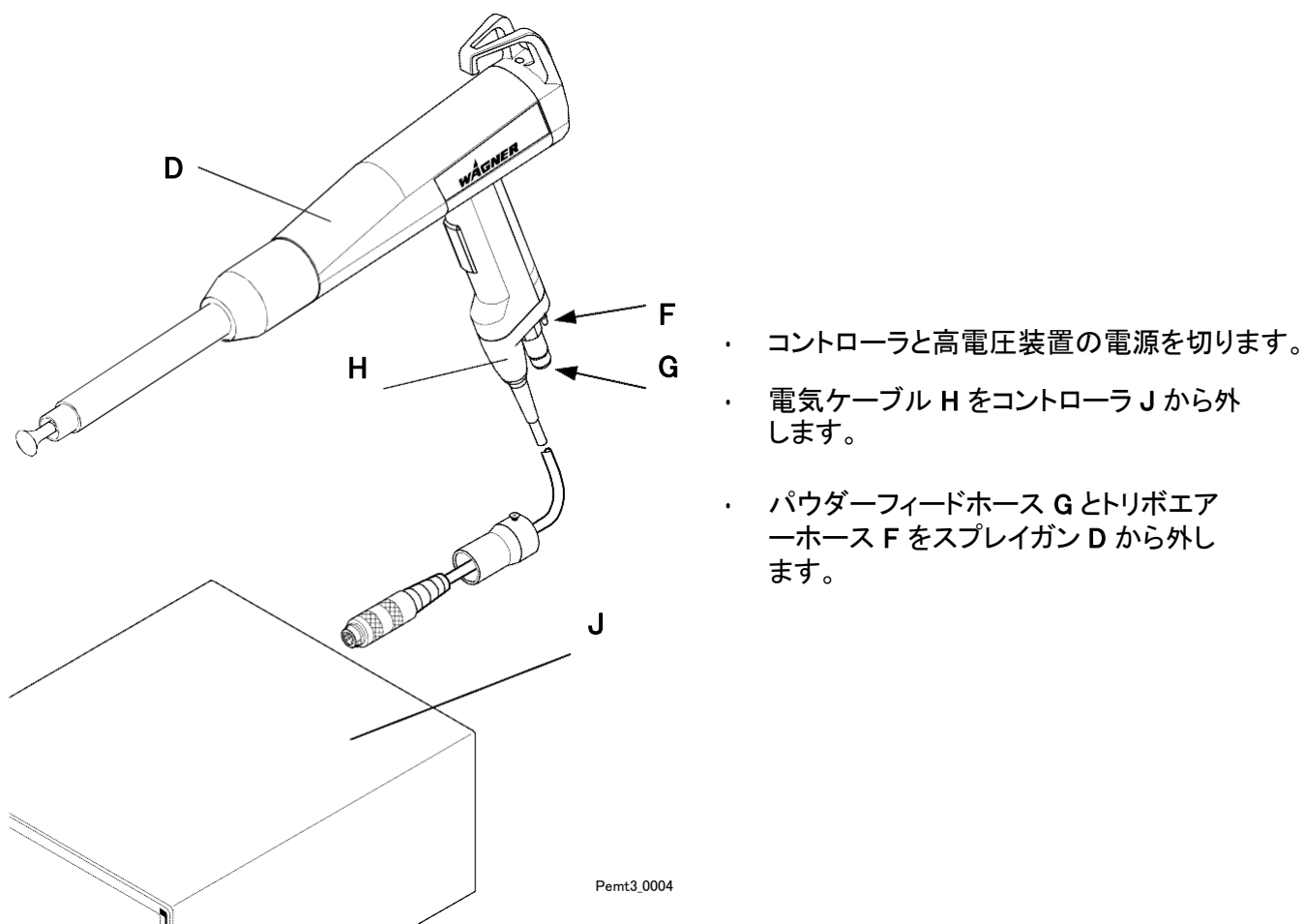


Caution

スプレーガン本体および部品の修理・交換は、危険場所の外で、専門スタッフによって行うこと！

スペアパーツリストで*のマークが付いている消耗部品は、定期的にチェックし、必要であれば交換してください。

0401_Pemt3_Ausbauen.doc



Pemt3_0004

- ・ スプレーガンを取り替え、逆の順番で接続していきます。

4.2 スプレーガンの洗浄と消耗部品の取替



Caution

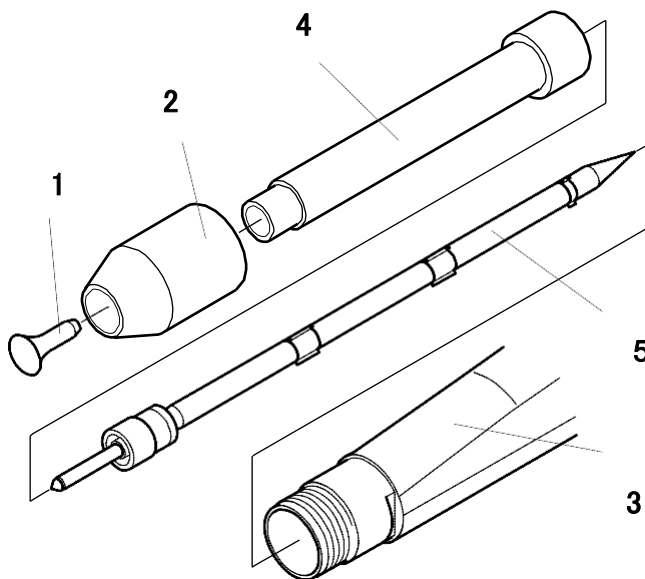
スプレーガンとその他部品を濡れた洗浄剤の上に絶対に置かない！

0402_Pemt3_Verschlaustausch.doc



Caution

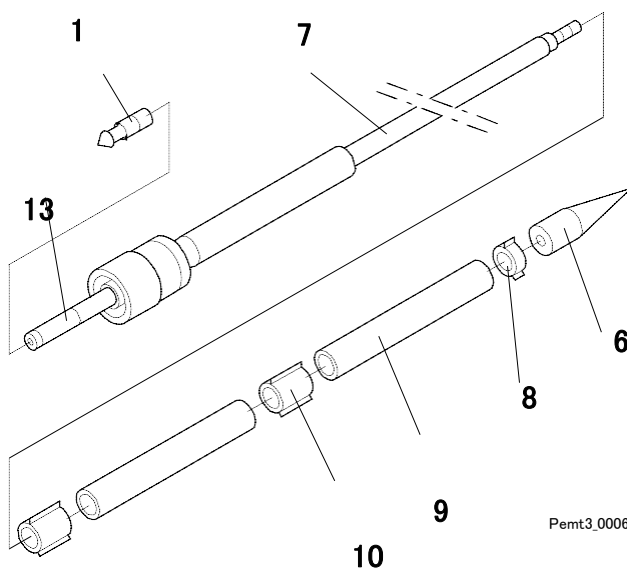
各パーツを取り外す、また組み立てる時は、チャージングボディが損傷を受けていないか入念にチェックすること！



Pemt3.0005

- ・ デフレクターコーン 1 をチャージングボディ 5 から抜きます。
- ・ 外部ナット 2 をガンハウジング 3 から外します。
- ・ ノズルボディ 4 をガンハウジング 3 から注意して抜きます。
- ・ 取り外したパーツに消耗がないかチェックします。
- ・ チャージングボディはこの作業時に取り替えることができます。

チャージングボディを解体して、消耗した部分のみ取り替えることもできます。



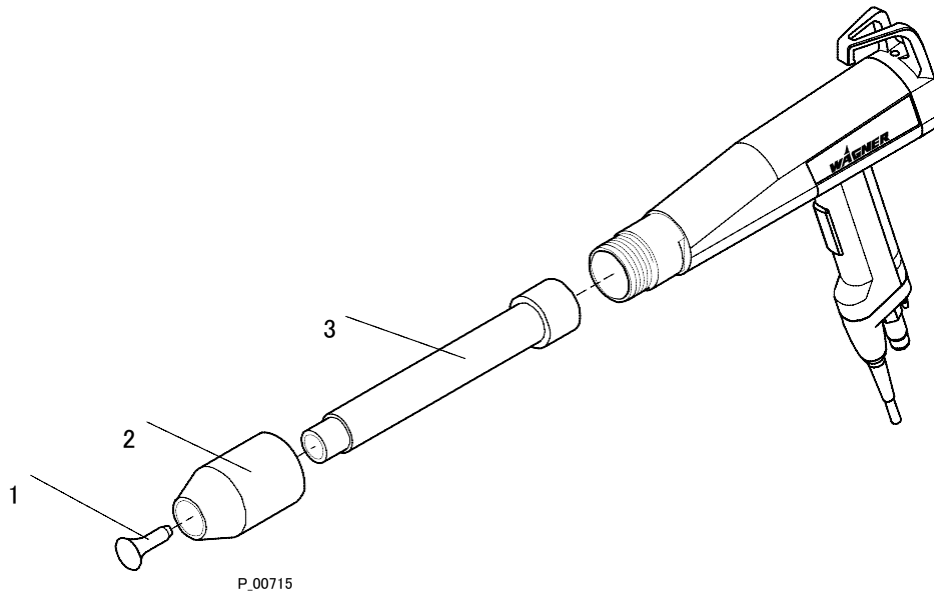
Pemt3.0006

- ・ チップ 6 をスレッドバー 7 から外し、チャージングボディを解体します。
- ・ エアーノズル 14 を デフレクターコーンロッド 13 から外し、消耗していれば新しいものと取り替えます。
- ・ すべてのパーツから粉体残留を取り除きます。
- ・ 消耗しているパーツを新しいものと取り替えます。
- ・ チャージングボディを組み立てなおします。
- ・ チャージングボディを注意しながらガンに戻し、ガンを組み立てます。

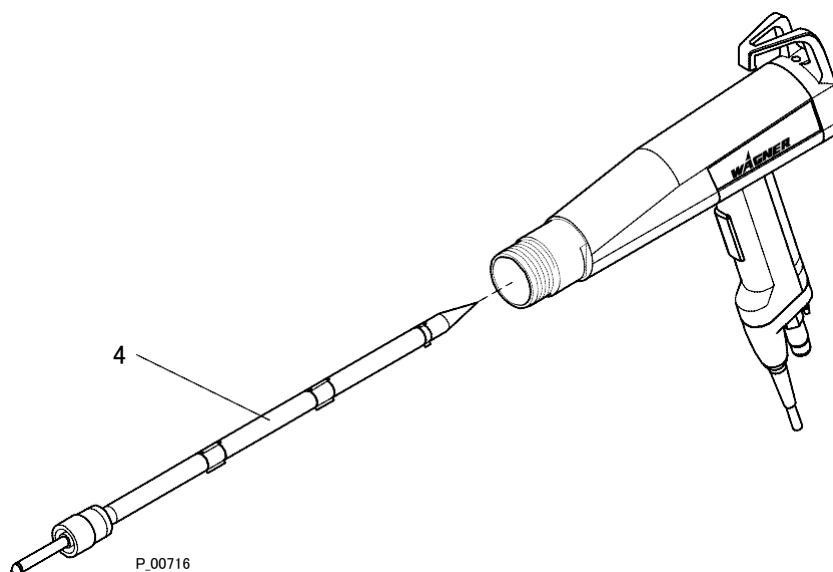
4.3 ガンエクステンションの取付

**Caution**

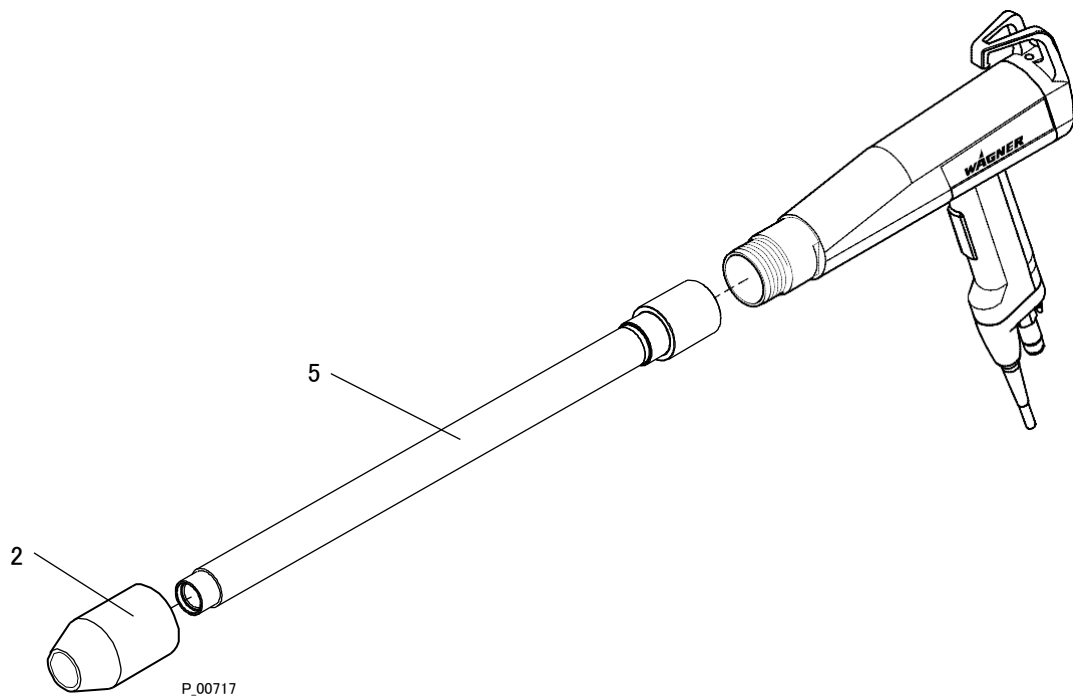
ガンエクステンションの取り付けには、スプレーガンの洗浄をしっかりと行うこと！新しいスプレーガンを使うとなお良い。



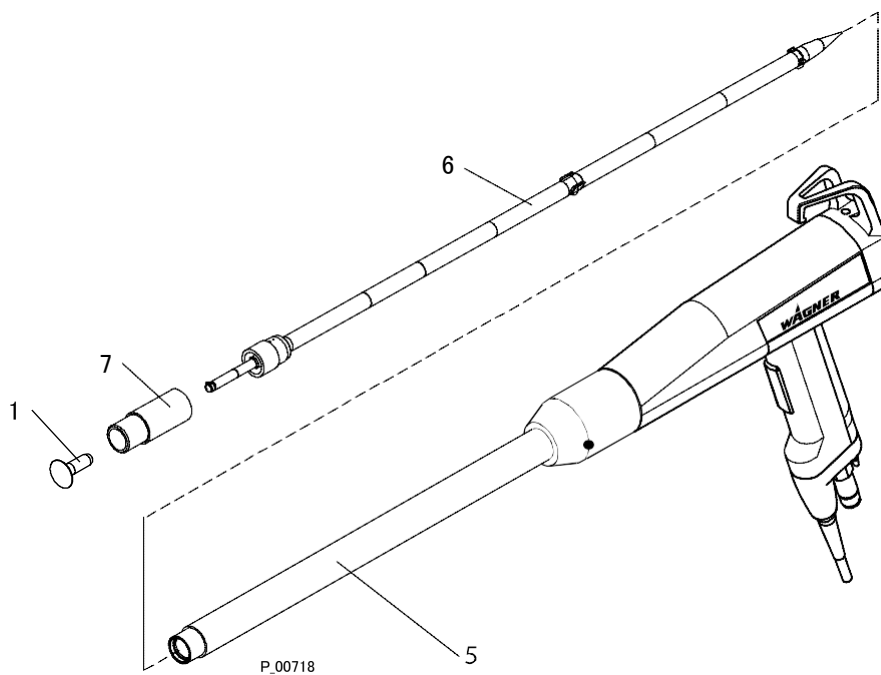
- ・ デフレクターコーン／ファンスプレーノズル 1 をノズルボディ 3 から引き抜きます。
- ・ 外部ナット 2 をガンハウジングから外します。
- ・ ノズルボディ 3 をガンハウジングから引き抜きます。



- ・ チャージングボディ 4 をガンハウジングから引き抜きます。



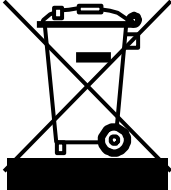
- ・ アウターチューブ 5 をガンハウジングに差し込み、外部ナット 2 で締めます。



- ・ チャージングボディ 6 をアウターチューブ 5 に最後まで差し込みます。
- ・ アダプター 7 をアウターチューブ に最後まで押し込みます。
- ・ デフレクターコーン／コラムノズル 1 をアダプター 7 に設置します。

4.4 廃棄

04_Entsorgung.doc



以下EU諸国のみ：

電気部品を家庭用ごみと一緒に廃棄しないこと！

European Directive 2002/96/EC 電気電子廃棄物処理法の履行により、この製品は家庭用ごみと一緒に廃棄できない、環境リサイクル対象品です！

ワグナーまたはその販売店はワグナー電気・電子機器を引き取り、環境リサイクル法に基づき廃棄します。詳細はワグナーサービスまでご連絡ください。

5. トラブル対策

| 異常 | 原因 | 対策 |
|------------------------------|--|---|
| トリボ電流なし (例:塗料の回り込み、付着がない) | <ul style="list-style-type: none"> - 不適切なパウダーチャージ - スプレーガンからコントローラへの電気ケーブルの欠陥 - トリボ電流測定またはディスプレイの欠陥 - 粉体運送部品の消耗 | <ul style="list-style-type: none"> - ワグナーサービスまで連絡 - 消耗品の取替 |
| 回り込み性が低い、バックスプレー | <ul style="list-style-type: none"> - 不適切な接地アース | <ul style="list-style-type: none"> - 接地アースのページ参照 |
| 不均等、不適切な噴出 | <ul style="list-style-type: none"> - 汚れ - 粉体焼結・運送部品の消耗 - 運送部品の吹き抜け - 間違ったフィードエア／ド－セージエア－比 - パウダーインジェクターノズルの消耗 | <ul style="list-style-type: none"> - 運送部品の吹き抜け - 部品の洗浄または取替 - 関連デバイスの取扱説明書参照 - コントローラの調整 - パウダーインジェクター内の消耗部品の取替 1) |
| 不均等なスプレーパターン | <ul style="list-style-type: none"> - ノズルシステム部品の消耗 | <ul style="list-style-type: none"> - 消耗部品の取替 |

1) パウダーインジェクターの取扱説明書に消耗品、スペアパーツが記載されています。

6. 技術データ

重量: 500 g

06_Tribopistolendaten.doc

電気:

デザイン: EN 50177 と EN 50050 に準じる

保護クラス: IP 54

ニューマチック:

入力エア圧(トリボエア): 最大 43.5 psi (3 bar)

吐出量: 最大 300 g/分

06_.doc

必要な圧縮空気:

| クラス | ISO 8573.1 によるクオリティー |
|-----|---|
| 5 | 最大残留水分: (圧力露点 700 kPa) +44.6 ° F / +7 ° C |
| 2 | 最大含油率: 0.1 mg oil/m ³ / 0.1 oz/ft ³ |
| 3 | 最大濃度: 5 mg/m ³ / 5 oz/ft ³ |
| 3 | 最大粒度: 5 μm / 5 microns |

周辺条件:

低温度粉体を使用する場合は、周辺温度を 30° C 以下に保ってください。



容積測定:

1 Nm³/h = 35.3 ft³/h; 1 bar = 14.504 psi

7. 製品保証

製品責任

1990年1月1日発行のEU条例に従い、全ての部品が認可された商品であり、機器部材を適切に取り付け運転され、保守点検が成されている場合、製造者は全ての機器の責任を負う。

他社による純正外の部品及びアクセサリーが使用された場合、製造者責任は完全に或いは部分的に無効となる。

ワグナーの純正部品及びアクセサリーの使用によりすべての安全規格の遵守が保障されます。

製品保証

装置は次の製造ワランティーにより包括されています。

納入日から12ヶ月(1-シフト)或いは6ヶ月(2-シフト)以内に設計・材料・製造不良が原因で実質的に使用できない部品及び付属品の修理・交換を無償で行う。

修理交換に関するワランティー条件は当社の自由裁量で行われる。

実施に伴う運賃、工賃、材料費は特別な事情を除きすべて当社で負担される。

下記理由で引き起こされた損傷はワランティー条項には包括されません；

不適切な使用、購入者或いは第三者による誤った設置・始動、磨耗損耗、不注意な取扱い、不完全な保守点検、不適切な被塗物、代用材料、化学反応、電気化学作用。

ワグナーが製造していない部品に関してはワランティー条項に入りません。

交換部品のワランティー期限は拡大延長されませんので受領次第検査して下さい。

ワランティー保障の喪失を避けるため、欠陥は直ちに連絡してください。

ワランティー保障は購入先及び納入先に限定されます。転売先での修理交換は有償となります。

このワランティー条項は法的制限は無く、当社の一般取引条件となります。

8. 適応範囲と部品リスト

8.1 注文方法

0901_.doc

部品発送を確実にするため、次の情報を明記下さい。

部品番号・部品名称・必要数量

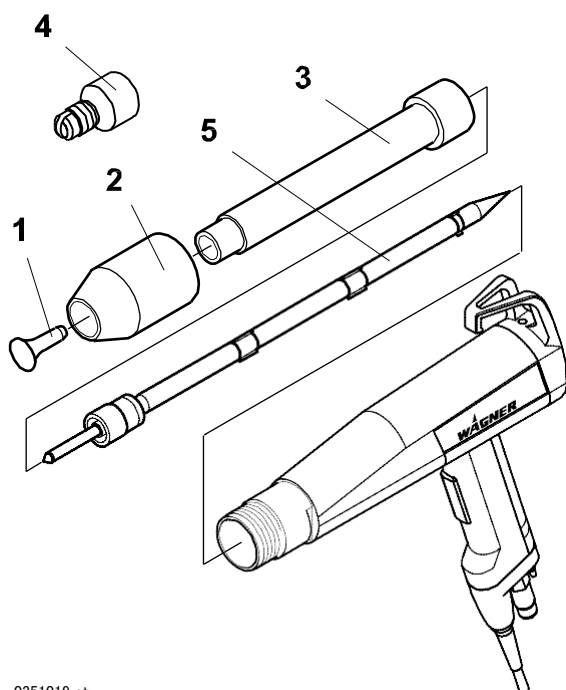
部品リストの数量項目に記載された数値は各機器に使用されている部品点数であり、注文数量には該当いたしません。

注文時には、下記内容もお知らせ下さい；

請求先
納入先
ご担当者名
納入方法

8.2 PEM-T3 の適応範囲と部品リスト

0351019



0351019_et

| Item | 部品番号 | 名称 |
|------|---------------|-----------------------------|
| -- | 351019 | トリボマニュアルガン PEM-T3 |
| 1 | 259474 * | デフレクターコーン (Ø22) |
| 1 | 259475 * | デフレクターコーン (Ø28) *** |
| 2 | 351654 | 外部ナット トリボ ET |
| 3 | 351581 | ノズルボディ |
| 4 | 260928 * | フラットノズル ** |
| 5 | 260629 * | チャージングボディ (全体) |

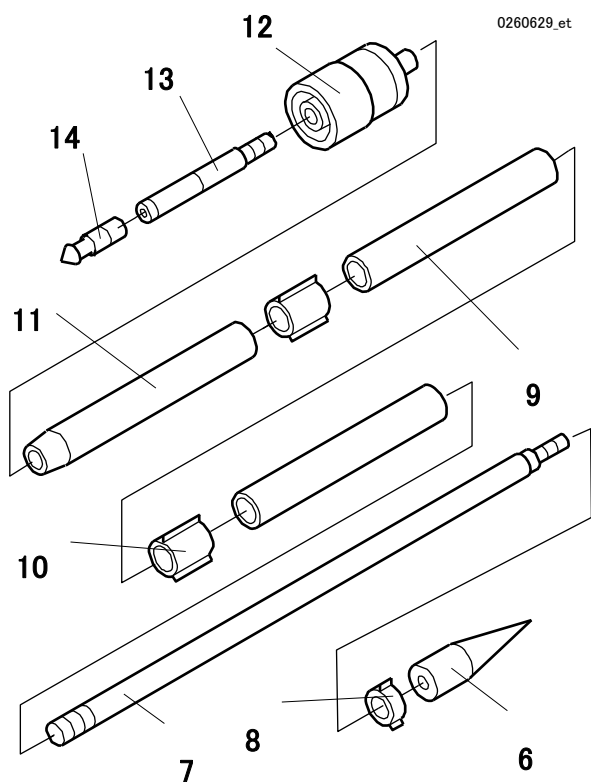
* 消耗品

** セットのみ販売

*** 特別付属品

8.3 チャージングボディ(全体)

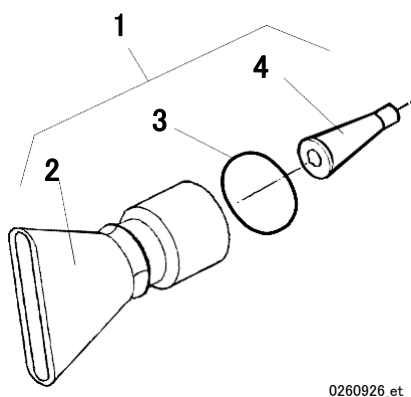
0260629



| Item | 部品番号 | 名称 |
|------|---------------|----------------|
| -- | 260629 | チャージングボディ (全体) |
| 6 | 260472 * | チップ |
| 7 | 260473 | スレッドロッド |
| 8 | 260474 * | リング |
| 9 | 260471 * | チャージングチューブ |
| 10 | 260476 * | サポートリング |
| 11 | 260470 * | ロッド |
| 12 | 260463 * | セントラルエアガイド |
| 13 | 260469 * | デフレクターコーンロッド |
| 14 | 260632 * | エアーノズル (全体) |

* 消耗品

8.4 ワイドファンスプレーノズル

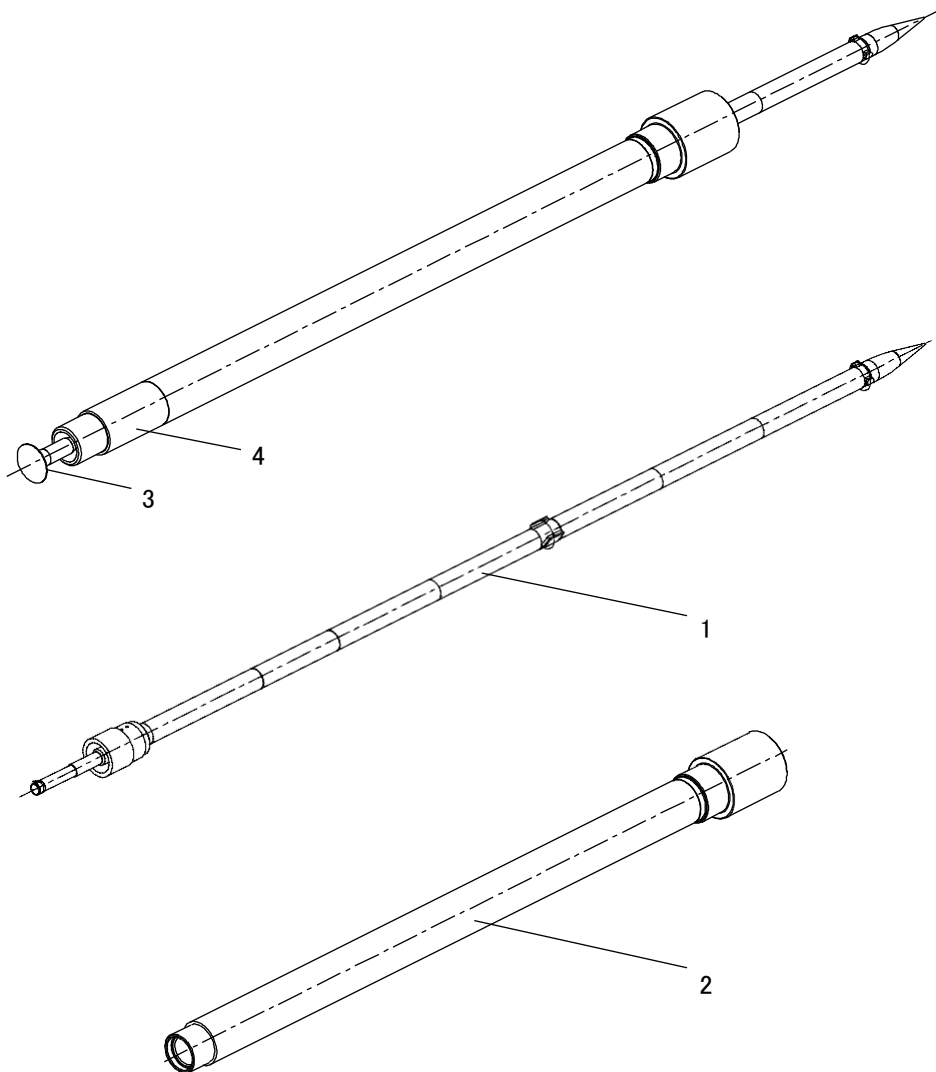


| Item | 部品番号 | 名称 |
|------|-----------------|------------------|
| 1 | 260926 * | ワイドファンスプレーノズル ** |
| 2 | 260280 * | ワイドファンスプレーノズル |
| 3 | 9971037 * | オーリング 22x1,5 |
| 4 | 260627 * | デフレクターコーン Ø13 |

* 消耗品

** セットのみ販売

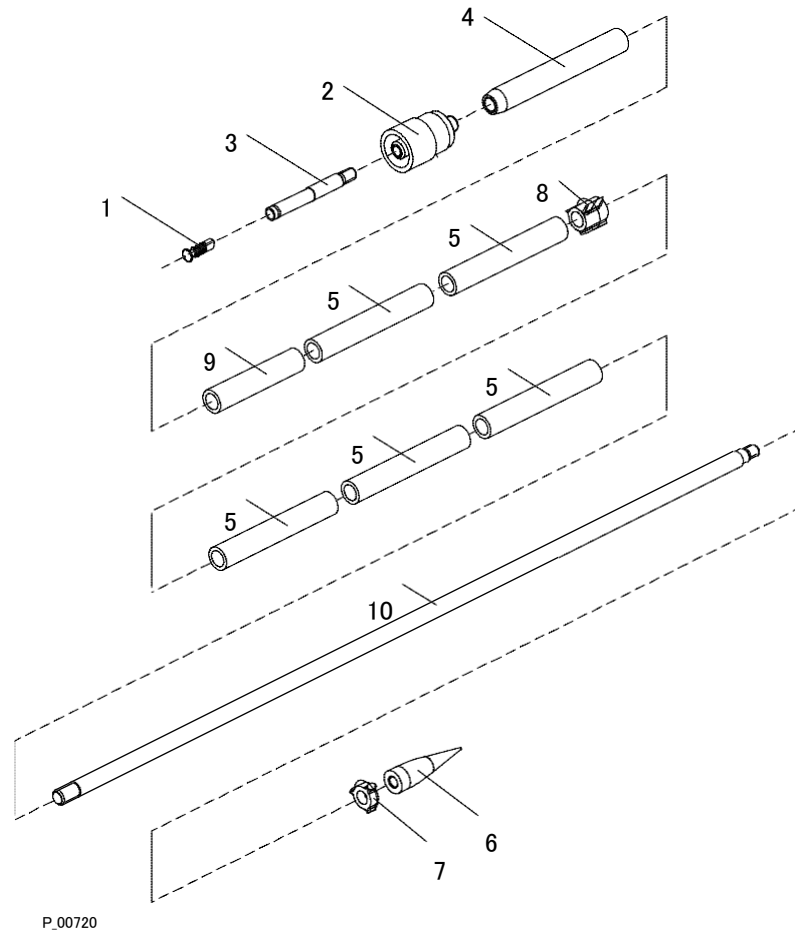
8.5 ガンエクステンション



P_00719

| Item | 部品番号 | 名称 |
|------|----------|---------------------|
| — | 260934 | ガンエクステンション 300 mm |
| 1 | 260935 * | チャージングボディ PEM-T3 ET |
| 2 | 260936 * | アウターチューブ PEM-T3 ET |
| 3 | 259474 * | デフレクターコーン (ø22) |
| 4 | 259479 | アダプター |

8.6 チャージングボディ PEM-T3 300

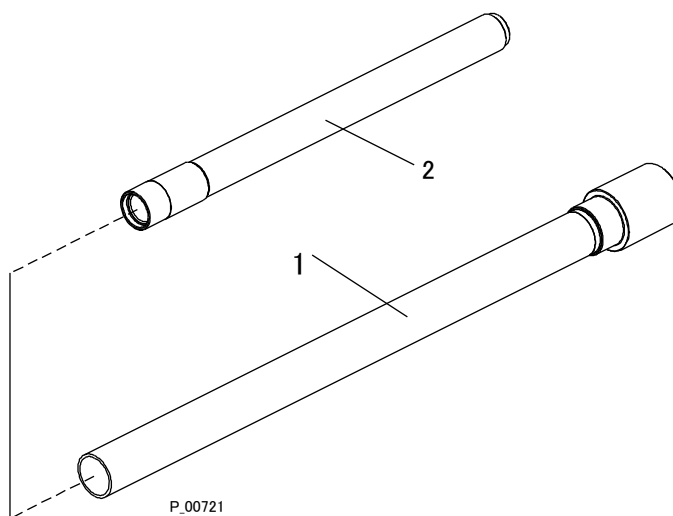


P_00720

| Item | 部品番号 | 名称 |
|------|---------------|-----------------------------|
| — | 260935 | チャージングボディ PEM-T3 300 |
| 1 | 260632 * | エアノズル(全体) |
| 2 | 260463 * | セントラルエアースプライ |
| 3 | 260469 * | デフレクターコーンロッド |
| 4 | 260470 * | ロッド |
| 5 | 260471 * | チャージングチューブ |
| 6 | 260472 * | チップ |
| 7 | 260474 * | リング |
| 8 | 260476 * | サポートリング |
| 9 | 260657 * | チャージングチューブ |
| 10 | 260658 | スレッドバー |

* 消耗品

8.7 アウターチューブ



| Item | 部品番号 | 名称 |
|------|--------|--------------------|
| — | 260936 | アウターチューブ T3 300 ET |
| 1 | 260655 | アウターチューブ T300 |
| 2 | 260656 | パウダーチューブ |



ADDRESSES

Germany

J. WAGNER GmbH
Otto-Lilienthal-Str. 18
D-88677 Markdorf

Phone +49(0)7544/505-0
Fax +49(0)7544/505-200

Switzerland

J. WAGNER AG
Postfach 109
Industriestrasse 22
CH-9450 Altstätten

Phone +41(0)71/7572211
Fax +41(0)71/7572222

Austria

J. WAGNER GmbH
Otto-Lilienthal-Str. 18
Postfach 1120
D- 88677 Markdorf

Phone: ++49/ (0)7544 / 5050
Fax: ++49/ (0)7544 / 505200

Netherlands

Wagner Systemen Nederland B.V.
Proostwetering 105 C
NL-3543 AC UTRECHT

Phone +31(0)30/2410688
Fax +31(0)30/2410765

Belgium

Estee Industries
Leenbeekstraat 9
B-9770 Kruishoutem

Phone +32(0)9/3885410
Fax +32(0)9/3885440

Denmark

WAGNER Powder Systems Scvandinavia
Juupajokivej 8
DK-8850 Bjerringbro

Phone +45 7023 2052
Fax +45 8668 2052

Sweden

WAGNER Powder Systems Scandinavia AB
Hedenstorpsvägen 4
Sverige - 55593 Jönköping

Phone +46(0)36/341590
Fax +46(0)36/368580

Great Britain

WAGNER Spraytech (UK) Ltd.
Unit 3 Haslemere Way
Tramway Industrial Estate
UK-Banbury, Oxon OX 16 8TY

Phone +44-1295-265353
Fax +44-1295-269861

USA

WAGNER Systems Inc.
300 Airport Road, Unit 1
Elgin, IL 60123

Phone +1(0)630/503-2378
Fax +1(0)630/503-2377

Japan

WAGNER Spraytech Japan Ltd.
2-35 Shinden Nishimachi
Daito-Shi Osaka 574-0057

Phone +81(0)72/8743561
Fax +81(0)72/8743426

China

WAGNER SPRAYTECH SHANGHAI CO LDT.
4th Flr, No. 395 Jiangchangxi Road
Shibei Industrial Zone
Shanghai, 200436

Phone +86(0)2166521858
Fax +86(0)2166529819

France

J. Wagner France SARL
B.P. 75, 5, Avenue du 1er Mai
F-91122 Palaiseau-Cédex

Phone +33(0)825/011111
Fax +33(0)1/69817257

Italy

WAGNER Itep S.p.A.
Via Santa Vecchia, 109
I-22049 Valmadrera - LC

Phone +39/0341/212211
Fax +39/0341/210200

Spain

WAGNER Spraytech Iberia S.A.
P.O.Boc, 132, Crtra. N-340, Km. 1245,4
E-08750 Molins de Rei (Barcelona)

Phone +34(0)93/6800028
Fax +34(0)93/6800555